

一生保エコシステムの新たなステージ ヘルスケア分野への展開

アイリックコーポレーション(IRR)フェロー

保険・ヘルスケアDX担当 畔柳主税

保険業界の新たな契約引受査定・給付金支払い業務向けに健康診断書・診療明細書のAII-OCRで生保エコ・共用クラウドとして展開が進んでいる。ヘルスケア関連業界向けにどう展開するか。病院での問診票に着目して、従来のAII-OCRの課題を抜本的に改革するソリューションの開発が新たな扉を開いてくれた。

出遅れた定型AII-OCRの課題を分析

生命保険証券の写メから始まった弊社のAII-OCR。弊社子会社であるインフォテリオから「スマートOCR」の商品名で販売が始まった。従来は難しかった非定型帳票の読み取りに優れたAII-OCRとして、今では国税庁の確定申告にまで採用が広がっている。アイリックとしては、保険業界向けに、健康診断書・診療明細書のパッケージを生保エコ・共用クラウドなど、保険会社にとって便利な形へ

進化させてきた。

一方で、申込書・アンケートなどといった定型帳票の領域では採用が進んでいなかった。なぜなら、定型AII-OCRは先に多くのベンダーが参入していて、弊社は完全に出遅れていたためだ。RPAとともに企業のバックオフィスのDX化ブームがあり、導入が進んでしまっていたのだ。

そこで、弊社は既存の定型AII-OCRの問題・課題を分析した。他社ユーザーの不満の声、海外スタートアップのツール、顧客の潜在的なニーズの分析を進めた。その結果、課題は次の三つに

イノベーションに至る発想

「そつだ、帳票ありき

から始まるから限界があるのだ」
「そもそも、AII-OCRに適した帳票をデザ



スマートOCRクリエイティブフォーム詳細

ウェブでも紙でものハイブリッドAII-OCRを開発

「読取設定も自動化すれば、読取設定の専門家も手間も不要だ」
「ウェブ入力システムも同時にでき上げれば、AII-OCRとのデータも統合できる」
こんな発想で、スマートOCR・クリエイティブフォームが誕生した。ハイブリッド自動車、ガソリン・電気でも走れるように、紙にもウェブにも同時に対応できる日本らしいハイブリッドAII-OCRだ。

フリクシー社と合意へ

弊社から、ウェブに加えて、紙(AII-OCR)にも対応するハイブリッドを提案した。吉永社長は、「病院の問診票は、年1億枚はありそう」とすごい脈を見つけた。早速、諸君がクリニック向けに「メルブW

EB問診」を提供しているフリクシー社にコンタクトを取り、吉永和貴社長との面談が決まった。吉永社長は、現役の医師としての発想を自分でプログラミングしてアプリを実装する起業家だった。当時、メルブWEB問診は、現場のニーズを捉えて、850医院以上(日本ナンバー1)に導入されていた(2021年5月時点)。一方で、保守的な医師には紙志向は根強かった。

「談」という画期的なアプリがある。気になる部位・症状を入力することで、その症状の「病気の関連性」「行くべき診療科」「近くの病院・クリニック」を無料で確認できる。さらに、症状と関連する病名までわかる。私にも経験がある。息子が夕食後に腫れ・熱がどんどんひびくようになった。車で5分の救急外来に連れて行き、診察待ち30分で、アナフィラキシーショックで倒れ、女医さんがその場でアドレナリン注射を打つことで助かった。実際、メルブAII受診相談と同じ症状を入れたところ、「時間外でも、すぐに受診しましょう」「タクシーか自家用車で病院へ行きましょう」とのメッセージが出た。どの家庭でも、老人や子どもに熱や咳が出た時など、119番を呼ぶ前に使えど安心できる。軽症なら安心して寝かせられる。緊急で救急車がつながらなければタクシー・自家用車で救急外来に向く。

保険業界を取り込むさらなるビジネスも視野に

メルブAII受診相談は、保険業界での活用も期待できる。まずは、シンプルに保険契約者向けのAII受診相談サービスだ。次に「体調は悪いが病気が診断されない」未病の方向けに、保険相談

や健康改善サービスの提供が考えられる。AII受診相談の履歴(問診データ)や定期健康診断データ(弊社のAII-OCR活用)との組み合わせでも魅力的なサービスを創れそう。リスク予測(前回紹介のマイリスク)や予防医学的な観点からの食事・運動等のアドバイスなど。将来的には、マイナポータル健康診断書・診療明細書データも取り込んだ、PHRビジネスも視野に入る。ヘルスケア系のサービス市場は、医療・薬・保険・携帯など、各業界が顧客時間を取り合う激戦状態になっている。保険業界の攻め口としては、企業団体保険を生かした健康経営に取り組み「企業の従業員(職域)向け」のサービスが良さそうだ。

次回は、保険代理店による「中小企業の健康経営」の観点からのアプローチをお届けしたい。

【畔柳主税(あぜやなぎ・ちから)氏のプロファイル】静岡県富士市生まれ・東工大卒。石油会社のIT部門から2008年より保険業界向けのITソリューション・DXの企画・営業に携わる。持ち味は企業コラボ。